

# 議会だより

題字は、土岐津中学校3年生 児山結衣さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



土岐高山城跡から望む市街地



大富館跡



土岐高山城跡 物見櫓



浅野館跡 (笠神社)

## Contents

- 第3回定例会報告…………… 2～3ページ
- 委員会報告…………… 4～5ページ
- 一般質問…………… 6～13ページ
- 編集後記…………… 14ページ

## 土岐氏ゆかりの地 土岐高山城跡

「ときは今あめが下しる五月かな」これは明智光秀が本能寺の変の直前に詠んだ連歌の発句です。「土岐氏が今こそ天下を取る時がきた」という光秀の決意を表していると言われています。市北部にあった土岐高山城や大富館、浅野館など土岐氏の拠点がありました。

# 令和元年 第3回定例会報告

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第38号	令和元年度土岐市一般会計補正予算（第1号）	補正額 154,415千円
議第39号	令和元年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 20,320千円
議第40号	土岐市監査委員条例等の一部を改正する条例について	地方自治法の一部改正等に伴い、条ずれが生じたため、関係条例について、条文の整理を行うもの
議第41号	土岐市積立基金条例の一部を改正する条例について	土岐市ふるさと創生事業基金を廃止するため
議第42号	土岐市税条例の一部を改正する条例について	地方自治法の一部改正等に伴い、この条例を定めようとするもの
議第43号	土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について	介護保険法施行令の一部改正に伴い、この条例を定めようとするもの
議第44号	土岐市特定非営利活動促進法施行条例を廃止する条例について	岐阜県特定非営利活動促進法施行条例に基づき権限移譲事務を行うため、この条例を定めようとするもの
議第45号	土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について	住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴うもの
議第46号	土岐市修学資金の返還免除に関する条例の一部を改正する条例について	修学資金の返還免除の要件を見直すために、この条例を定めようとするもの
議第47号	駅前広場整備第3期工事その1（建築）の請負契約について	駅前広場整備第3期工事その1（建築）の請負契約を、226,800,000円で、館林建設株式会社 代表取締役 館林慶二と締結しようとするもの
議第48号	駅前広場整備第2期工事の請負契約の変更について	駅前広場整備第2期工事の請負契約（平成30年6月26日議決 議第57号）について、契約の金額「235,440,000円」を「229,357,440円」に変更しようとするもの
議第49号	財産の取得について	CAPS付CD-1消防ポンプ自動車を44,172,000円で、株式会社ウスイ消防 代表取締役 白井潔から取得しようとするもの
議第50号	土地の処分について	市有地である土岐市泉町久尻字石砂酒2431番1外3筆を41,590,099円で岐阜県岐阜県知事 古田肇へ売却しようとするもの
議第51号	債権の放棄について	債権の内容 修学資金 総額 26,880,000円

第3回定例会には、予算関係2件、条例関係7件、その他の案件5件の合計14件が市長から上程されました。今定例会に上程されました案件は、各常任委員会に付託され、6月19日、20日に審査し、本会議において、原案のとおり可決しました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対 -：棄権

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久	
議第38号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第43号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第45号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 委員会報告(総務産業建水委員会)

### 令和元年度土岐市一般会計補正予算(第1号) 所管部分

**質疑** 協働まちづくり推進事業について、自治会の在り方を検討するために、どのような事業を実施するのか。

**答弁** 自治会の加入率低下、役員のなり手不足などの課題に対処するため実態把握を行い、検討委員会で今後の自治会の在り方を検討する。

**質疑** 消防団への AED 配備状況は。

**答弁** 今回、7分団に配備することにより、全消防団に配備されることになる。

土岐市積立基金条例の一部を改正する条例について

**質疑** ここ数年のふるさと創生事業基金の充当事業は何か。

**答弁** 定住促進奨励金事業へ充当していたが原資がなくなったため、今回基金は廃止する。

### 駅前広場整備第3期工事その1(建築)の請負契約について

**質疑** 落札率は何パーセントか。

**答弁** 97.6パーセントである。

### 駅前広場整備第2期の請負契約の変更について

**質疑** 警備員の配置の見直しが減額の主要因とのことであるが、どのように見直したのか。

**答弁** 警備員による誘導ミス等为了避免するため、広場内での効果的な車両の切り回しを図ったことにより、警備員の数量が減となった。



整備中の駅前広場

### 財産の取得について

**質疑** 落札率は何パーセントか。

**答弁** 99.8パーセントである。



平成26年に北消防署に導入された車両(CAFS付CD-1消防ポンプ自動車)

## 委員会報告(文教厚生委員会)

令和元年度土岐市一般会計補正予算(第1号) 所管部分

**質疑** 成人式及び中学校卒業時に美濃焼を記念品として贈呈する陶育事業について、記念品のデザインはどのように考えているのか。

**答弁** 美濃焼 PR 委員会の委員からサンプルを提供していただいて、その中から決定していきたい。

**質疑** 妻木城史跡案内看板の設置について、妻木地内に2ヶ所設置とのことであるが、県内外からの誘客のためにも、市内全域で設置すべきではないか。

**答弁** 妻木城に行かれた方に対しての史跡案内看板であり、現段階で市内全域での設置は考えていない。



妻木城土屋敷跡



妻木城跡

**質疑** 風しん予防接種について、今年度実施を予定している昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までの対象者は何名か。

**答弁** 罹患の危険性の高い年代から実施し、今年度の対象者は2800名くらいである。

土岐市税条例の一部を改正する条例について

**質疑** 単身児童扶養者を非課税措置の対象に追加する改正に関して、その対象者は何名か。

**答弁** 児童扶養手当受給者から推計すると最大でも34名である。



土岐市介護保険条例の一部を改正する条例について

**質疑** 保険料減額の段階別対象者と減額見込額はどの程度か。

**答弁** 第1段階の対象者は、2400名。第2段階は、1852名。第3段階は、232名で、総額2000万円程度の減額を見込んでいる。

# 一 般 質 問

6月議会では、14名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。  
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。  
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の  
会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

## ● 一般質問へのアクセス方法

視聴の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
どちらかの方法	議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ ⇒ 一般質問
	⇒ 視聴したい日にち ⇒ 日時を選ぶ
	議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒
文書の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒ 議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

## 《第3回定例会一般質問》



西尾 隆久

### ◆ 市長の市政方針について

◎愛着を持てるまちづくり、地域の特色を生かしたまちづくりについて。

◎基本的に、市民が協調行動が活発になれば社会の効率性が向上すると考え、市民、行政とのコミュニケーション、又パートナーシップを高めることにより社会が豊かになると基本的に考えている。伝統工芸の育成、陶磁器産業の支援、土岐市の持つている地域の資源を活用するとともに、地域ごとの違う歴史や文化、自然、そして、それにかかわる市民も大勢おられ、そういった方々を再発掘する、あるいは支援をすることを中心に考えていきたい。

◎少子高齢化に向けたまちづくりについて。

◎公共施設の在り方、子育て支援の方向性、保育園、幼稚園の統合について、基本的には土岐市子ども子育て支援事業計画を踏まえ検討していきたい。公立保育園等の再編、認定こども園化を含めた幼児教育のための環境整備が大変重要なことである

と考え、そういった中で議論を踏まえ検討していきたい。

◎災害に強いまちづくりの推進について。

◎ハード面では、耐震補強工事への補助、あるいは橋梁の補強工事など、社会基盤を整備することにより災害に強いまちをつくるのもひとつの視点。ソフト面では、地域の防災リーダーの方、またその方々の育成、また防災計画といったものの継続的な見直し、そして防災士、自主防災組織、自治会の連携、いわゆる問題となっている共助のまちという中で、どのように災害を防いでいくのかということが大きな課題で、地域住民で助け合うというのが大きなテーマであると考えます。

◎市長と語る会、座談会等の開催について。

◎地域の皆さんの意見を直接伺う機会を設けるべき。今後、具体的なスケジュールについて検討、開催したいと思っている。

◎地域住民の生きがいづくりについて。

◎医療、介護、予防、そして住まい、生活支援に地域包括ケアシステムのような形の構築が必要。また元気な高齢者が多く、運動、社会参加に積極的に進んで、健康寿命を延ばしていく事が必要であると思う。



水石 玲子

◆青少年の政治参加の意識向上を

問主権者教育について、4月の市議会議員選挙の18歳、19歳の投票率は、  
 答18歳が33・47%、19歳が29・67%。  
 問教育現場での主権者教育の現状は。

答社会科で選挙や政治の学習、家庭科での消費生活、道徳での勤労や公共の精神を扱う学習、生徒会選挙について考える話し合い活動など実施。

問小学生向け主権者教育動画についての認識と今後の取り組みは。

答小学生に親しみやすく、身近で楽しんで主権者について学べる。今後社会科での政治のはたらきの学習、児童会選挙での活動の際に活用する。

問子ども議会の開催のお考えは。

答中学生サミットを輪番で議長校行っている。中学生サミットとの整合性を絡めながら、今後検討していく。  
 問駅前やスーパーなどに移動期日前投票所の設置のお考えは。

答オンラインの回線、人件費、場所、

設置の費用等の問題があるため考えていない。

◆安全対策について

問学校安全計画は策定してあるのか。

答市内全ての小・中学校において、策定してある。

問今後の取り組みは。

答通学路安全点検、授業での安全指導、生活の目当て、命を守る訓練等、再度学校安全計画の見直しをする。

問子ども110番の家は何軒あるのか。更新や運用はどのようにしているのか。

答413軒あり、子どもたちの手紙を届けたり、学校職員、PTA役員が、確認をしている状況。各学校に適切な運用を働きかけていきたい。



子ども110番のいえの目印看板

◆公園の整備について

問今年度、公園施設の維持管理補修の計画は。場所、期間、点検方法。

答総合公園、東公園、市内63ヶ所の都市公園、年1回点検している。点検方法は、目視、触手、聴音、打音、振り動かし、ノギスでの測定。

《第3回定例会一般質問》



北谷 峰二

土岐市総合病院について

◆病院指定管理者協定書について

問現在医師23名は残って頂けるのか。後任の医師確保は。辞めようとする医師の引き留め交渉は。

答J A岐阜厚生連と市の方で協力しながら先月から面談をしているが始めたばかりで情報を今つまびらかに公表する段階ではない。

問来年再スタートするが従前から医師確保が難しいと、ことごとく言われているが看護師やコメディカルの皆さん等人材確保が本当に間に合うのか。

答指定管理者であるJ A岐阜厚生連と協力して医師、看護師、コメディカル等の確保に当たっていききたい。

問協定書に救急確保がうたわっているが救急の確保は出来るのか。

答結局は人が行うものであり医師、看護師、コメディカル、こういった方の確保に今後も努めていく。

◆市民バスについて

問高齢ドライバーが免許証自主返納する時代になってきている。バス停

の位置を一度見直すべきでは。

答近年アンケートをとっているがバス停の増設や位置変更と言った要望はない。そう言うものが多く上がったければやはり見直さなければならぬと思うている。

◆通学路安全対策について

各学校に登下校時における児童・生徒の安全確保の徹底についてを通知。今回の事故事件を受けて先ずガードレール設置、児童・生徒の待機場所の安全確保を県へ要望。【実例―通学路途中に押しボタン信号機がありボタンを押すと青になる時間が僅か20秒。これで渡るのは凄く大変。信号待ちで100m近く子どもたちが並んでいる横で対向車のすれ違い、横からも車が来る】

問子どもたちが通学路に滞留している時間が長いことが大きなリスクと思うが。

答信号の長さについては色々な方々のご協力を得ながら改善出来る事は最大限教育委員会も関わらせて頂く。集合場所から出発する時間を多少時間差を変えていけないかや、学校始業に対する配慮やその辺を安全優先で総合的に物理的な面で改善出来ないかという点とこちら側の努力で改善出来ないかという両面で学校と詰めて行きたいと思っている。



和田 悦子

◆総合病院の今後について

問令和2年度からJＡ岐阜厚生連が運営をしていくことになるが、現在の医師の動向が気になります。市長は医師の今後の身の振り方について、医師と面談されますか。

答(市長) 必要性があれば取り組みたいと思っている。

問土岐市病院事業の管理運営協定書は3月議会最終日の翌日に締結された。なぜ締結をそんなに急がれたのか。議会として精査する必要があった。なぜ協定書(案)は初日に議案と一緒に出されなかったのか。

答補足資料の提出については所管の常任委員会委員長と協議させていただいた。資料提出の申し出は議会の団体意思として示してもらいたい。

◆市民ニーズを踏まえた医療の実施について

問出産環境は地方になくてはならない。産科医不足の一助となる院内助産所の開設を提案する。

答産科の開設の可能性については今後も探ってまいりたい。

●病院が再出発するにあたり、土岐市、市民、JＡ岐阜厚生連のそれぞれが利益を分かち合えるようにお願いしたい。

◆不登校児童・生徒の居場所づくりについて

問土岐市の不登校児童・生徒の数はどれぐらいなのか。

答小学校は平成28年度は21人、29年度は24人、30年度は36人。中学校は28年度は52人、29年度は72人、30年度は81人。

問年々増えているが、不登校の主な原因は。

答小中学校ともいじめ等に起因するものは1件もない。いじめを除く人間関係や家庭が起因。中学生では学業不安も起因といえる。

問浅野教室への相談件数は。

答電話・面談合わせて29年度は186件。30年度は287件。

問学校復帰ができた人数は。

答29、30年度それぞれに1名ずつが学校復帰をかなえることができた。

問広島県では教育長が校内にフリースクールをつくり、不登校児童・生徒をゼロにした実績をあげられている。校内フリースクールの導入はどうか。

答とりあえず、今の適応指導教室の拡充、活用を図りたい。

《第3回定例会一般質問》



後藤 正樹

◆子育て支援策の拡充について

問医療費助成事業について、全国的に対象を高校生まで拡大する自治体が増え、県内42市町村においても6市8町1村が高校生までの医療費助成事業を実施している。本市は、県による未就学児までを対象とした医療費助成事業に上乗せする形で、小学生及び中学生を対象とした医療費助成事業を行っている。当該事業の対象を高校生まで拡大した場合、受給対象者はどのくらい増えるのか。

答約1600名。

問対象を拡大した場合に新たに必要となる扶助費の試算額は。

答年間で約4500万円。

問本市において、医療費助成事業の対象を、高校生まで拡大することにしている市長の考えは。

答医療費無償化について、これまで深い議論がされてきたとはいえない状況で、高校生までの医療費無償化を即座に導入するという考えはないが、今後の検討・研究課題としたい。

問現在検討中の新たな子育て支援策又は既存の支援策の拡充の予定は。

答ひとり親家庭の子どもの学習支援と居場所づくりをするための事業を今年度から新たに始めるため、現在準備を進めている。8月頃から募集を開始し、11月頃から事業を実施する予定。

◆投票率向上のための取り組みについて

問選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたが、年代別投票状況の把握はしているのか。

答市内全域について把握しているのは、18歳・19歳の投票率のみ。

●若年層の投票率向上のためには、啓発活動を強化する必要があるが、高校生ではなく、地方自治の基本的な仕組みを学習する小学校六年生を対象にする方が効果があると思う。





小栗 恒雄

◆中心市街地活性化の取り組みは、官僚的でなく民間意識の認識で

◎多治見市さんは、駅の北と南が再開発され街づくりが進んでいます。瑞浪市は駅周辺の再開発の報道がありました。土岐市は、駅前広場の整備だけで、再開発の構想はありません。これまでの市長は、総合計画などで土岐市ゲートタウン構想などの中心市街地再開発事業の計画を立ち上げては消えるという繰り返しで、今では計画倒れでシャッター通りで済まず空き地通りになっています。私は、行政にも責任があると思います。加藤新市長は歴代市長と違う、中心市街地を活性化するための方策を持ってもらえるでしょうか。

◎(市長) 実際には、駅周辺地区の土地や建物の権利関係が非常に入り組んでいることもあり、長年の懸案事項として現在に至っている状況でございます。選挙前に、少し駅前の方々の会合で意見交換する中で、中心市街地を復活ができるかについては、皆さん非常に悲観的な考えを持

っておられました。そのかわり街の中に住んでいる人を増やすことはできないかとの意見がございました。皆さんと議論していく中で把握して考えないと、大変なミスマッチを起こす可能性があるかと認識している。

◎前の市長にも申し上げました。駅前開発する時は、どの中心街にも権利関係は当然あります。多治見市や瑞浪市に無かった訳じゃないです。どこの市もそれを乗り越えやっていくのです。議論をしながら、議論だけでは事は進みません。まず、行動を起こすことをお願いします。

◎(市長より反問) 只今の何とかしたいという議員さんの考えですが、どういふイメージを持っておられますか。小栗議員の考えられる策を、ご教示いただけませんか。

◎小栗 やれる方法はあると思います。やっぱり多治見市とか瑞浪市をしっかりと研究すべきです。何もそのところが無いために、土岐市でもできますけど、要するに市民に何か言われると、それですぐに諦め引つ込めてしまうという、そういう体質。言いかえれば、あえて言葉は悪くなりますが、要するに官僚的な考え方が、今でも土岐市にあったということ。その認識を変えていただくことが、新市長の反問に対する私の答えでございます。

### 《第3回定例会一般質問》



各務 和彦

◆土岐川沿い及び都市公園等の桜の保全について

◎土岐川沿いの桜・都市公園等も含め、桜の枝及び根の状況及び樹齢等の把握調査の有無はなされていますか。

◎土岐川沿いの市道についての樹齢等の把握については、桜並木自体は市の道路付属物ではないので、調査は実施しておりません。土岐川沿いの桜については、河川管理者が修景のために植えたものではなく、また自然に生えたものではないという状況で、現状では河川管理者が切ることはありませんという回答です。都市公園内の公園樹木の桜については、公園の草刈り、樹木の剪定の際に、枯れ枝の有無などの点検を実施しております。

◎将来においての桜の保全・維持及び植樹による入れ替え等の考えはありますか。

◎今後も可能な限り、桜が活発に活動する時期等避けて、最適な時期に剪定することに努めております。

す。綺麗な桜並木を子供たちに残してふるさとに愛着を持ってもらうためにも、現状の通行に支障をきたさない範囲で桜並木は残していきたいと考えております。

◆自治会等への防犯カメラ設置補助金について

◎市民生活の安全確保と対策として防犯カメラ設置に対しての自治会にはどのような制度があるのか。

◎自治体等の団体が防犯カメラを設置される場合には、まちづくり活動の施設整備事業としてまちづくり支援事業費補助金の対象となっております。ホームページ掲載の募集要項はわかりやすい内容で伝えられるように検討していきたいと考えております。

◆道路整備について

◎スマートフォンを活用しての道路通報システムの運用について、実証実験をして導入を考えた考えは。

◎通報内容によっては、市のみで完結できない案件も多く含まれているというところで、組織の体制も含めまして、またシステムがより改善されることも期待しながら、また他市の利用状況も調査の上、導入についてはちょっと慎重になってきてはおりますが研究を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。



杉浦 司美

## ◆土岐くらしのラボについて

問「土岐くらしのラボ」は、まちづくり活動支援事業として、ワークショップやイベントなどを通じて市民参画機会の創出、人や組織の醸成活動を継続する体制づくりを進めるためにはじめられた事業であるが、実施するに至った経緯は。

答地域を取り巻く多様化した課題について、行政主体で考えるのではなく、市民と協働して取り組むことが必要となっている。市民活動の強化、市民と行政の協働の仕組みづくりを図り、地域の課題解決への取り組みや市職員の施策推進に対する協働の意識や企画力を高めるための取り組みとして、「土岐くらしのラボ」を実施している。

問実際に、これまで取り組んできた、具体的な事例は。

答具体的な事例としては「ママにやさしい暮らし」をテーマに展開されたプロジェクトにおいて、「ママが毎日をやさしい気持ちで過ごすためにはどうしたらいいか」について、

公募により参加いただいた市民、市職員が、ワークショップで課題の洗い出しやその課題解決に向けた話し合いを進め、市が発行する子育てハンドブックを、もつと読みやすいもの、求める情報が掲載されているものにしようという意見があり、「子育てハンドブックをつくろう会」が発足し、約1年半にわたる検討、取材、原稿作成等を経て、今年3月に発行に至った。

問「土岐くらしのラボ」を実施することにより得られた成果をどのように評価されているのか。

答このラボを通して、市民同士の新たなネットワークが生まれ、活動が拡充している事例も出ており、このネットワークの広がりや深まりがまさしく成果であり、大切にしていきたいと、今後も引き続き推進したいと考えている。

問市長は、今後、協働のまちづくり活動を展開していく上で、「土岐くらしのラボ」をどのように位置づけて進めて行こうと考えているのか。

答職員が市民目線に立つ一方で市民の皆さんも共助というような視点に目線を少し広げていただきたい。「土岐くらしのラボ」は、私の今後の取り組みの中では、中心的に捉えていきたいと思っている。

## 《第3回定例会一般質問》



安藤 学

## ◆小・中学校の空調設備について

問土岐市の小・中学校への空調設備のスケジュールはどのようになっておりますか。

答昨年の平成30年11月に小・中学校空調設備設置設計業務委託を発注し設計を進めながら今後必要な工事を発注し来年の令和2年3月までに市内小・中学校のすべての普通教室に空調設備を設置完了する計画です。

問文部科学省は自治体に対して費用の三分の一を補助するとし、政府は2019年度中の設置ということですが土岐市はなぜ今のスケジュールになったのか。

答当初令和元年度中の設計を完了することを目指し令和2年度以降に機器を取り付けるように考えておりましたが可能な限り設計の前倒しをしまして今年度末までに工事を完了するように計画を変更しました。

問近年、気候変動が続く猛暑日の回数が増加し多治見市は稼働開始を小学校を6月中に早める形で動いている。土岐市教育振興基本計画で教育

環境の整備・充実、安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実とありますが多治見市の先行事例から見ると土岐市は危機管理体制の発動をしなければならぬと思われなかったでしょうか。

答当初、昨年度の計画に於いては、もう少しずれ込む計画だったが精一杯の形で今のスケジュールにした。危機管理体制に対して必ずしも軽微に考えているものではない。

問今夏、エアコン設置ができない場合、熱中症を予防するための対策は考えているのか。

1、具体的な対策は。  
2、今年、特に追加するものは。  
3、参考にする資料、指標は。

答学校に対して注意事項や依頼事項を2回に分けて文書通知をした。

基本的には、文書通知の内容と今年度は、それをきちんと守っていたけど、それをやっていたかどうかを校長会を初めとする各関係会議でお願いしている。

昨年度、暑さ指数の捉え方に各学校でまちまちのところがあったので今年度は統一的な捉え方をするためにWBGT(暑さ指数)で31度C以上については運動を中止することで市内統一的な取り組みをすることにした。



加藤 淳一

◆妻木砂防遺産のある町さんぽ構  
想について

◎構想決定から5年経過した現在の  
状況をお伺いします。

◎平成27年12月にはガイドマップ「妻木てくてくいにしえロマン」を作成いたしております。印刷物といましては、A2判の折り畳みのものを二〇〇〇部でございます。また、A3判のパンフレット二〇〇〇部も作られて、各種PRに用いられていると聞いております。平成28年10月に、そのガイドマップを学校、公民館、寺院、神社等、地域に配布しております。平成29年3月に妻木砂防遺産のある町さんぽ構想の改訂版の案として策定がなされております。改訂版の案につきましては、構想内容は変えずに、環境整備計画、それから活用の促進計画をわかりやすくしたものでありまして、内容を要約したものということで、見やすくなっておるものだと思います。ただ、ここ数年は、余り動きがないというところが実情でございます。

◆来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」について

◎岐阜県を中心に県内関係市町が、誘致、PR合戦になっていますが、土岐市の対策は。

◎受け入れの環境整備といたしまして、本城林道の整備や史跡案内看板の設置、林道への誘導看板の設置を行いたいと思っております。

また、各団体の事業といたしましては、観光協会では、お土産物の開発促進や販売促進、また桔梗紋とタイトル「土岐明智氏ゆかりの地」をデザインいたしましたオリジナルロゴを製作し、印刷物やウェブ、お土産品などへの活用、またのぼりを製作いたしまして、公共施設や商業施設、妻木城址などゆかりの地に設置していきたいと思っております。

また、妻木城址の会でございますが、他市の観光協会とタイアップいたしまして、八幡神社、崇禅寺、妻木城跡に観光客の受け入れなどを行っております。

また、将来的にグルメイイベントや、また美濃陶磁歴史館におきましては、「土岐明智氏と妻木氏」と題した特別展を開催予定しておるところでございます。

### 《第3回定例会一般質問》



加藤 辰亥

◎福祉医療制度について。

◎福祉医療制度については、重度の障害者、また一人親家庭及び乳幼児といった社会的に支援を必要とされる方々が経済的負担の心配がなく、安心して必要な医療を受けやすい環境をつくることにより、健康の維持、保持、向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とした制度です。

全国的に同様の制度が実施されておりますが、この制度は国の法律に基づくものではなく、県制度です。従って各県によってその内容はさまざまです。岐阜県の制度は、岐阜県福祉医療費助成事業補助金交付要綱に示されており、本市の制度はこれに準拠しております。身体障害者手帳3級、4級では、土岐市については、重度障害者については3級までの医療費助成をしています。近隣市では4級までの医療費助成をしているところもあります。全国的な流れで見ますと、全国47都道府県では、全ての県が1・2級を対象としています。

3級までを対象としていますのは38団体です。うち18団体は、例えばIQの数値であるとか、場合によっては内部障害のみに限るとか、いろんな制約をつけているところもあります。岐阜県は、IQとか、いわゆる障害の種類等にかかわらず、3級までを対象としています。全国的には先進的な地域と考えています。さらに4級まで実施しているところは、県内では21市のうち10市が実施、11市が未実施です。土岐市は県制度と同じ対象範囲で、身障4級までは対象としておりません。県制度においては所得制限があります。ある一定所得を超えた方については、1から3級の医療費は対象外となります。土岐市はその所得制限を撤廃して市の単独事業として身体障害者、療育手帳については、県の制度に上乘せした形で事業を実施しています。身障3級まで療育はB1までということになります。土岐市は所得の多い少ないに関係なく、支援をしています。この制度自体、昭和50年に議会の承認を経ています。制度が40年を経過して今日的な意義が変わってきているかもしれませんので、対象については考えていかなければなりません。いろいろなことを考えながら今後検討していく事項と考えています。



小関 篤司

◆安心・安全な上下水道の安定供給、料金引き下げについて

◎**上水道の有収率（供給した水量と料金として収入があった水量の比率）、下水道の普及率、水洗化率向上の取り組みと今後の見通しは。**

◎**上水道の有収率は平成30年度で年間88・63%。取り組みは市民や検針員の連絡により、漏水箇所の早急な修繕を行っています。見通しは配管の老朽化が進んで低下の傾向。現状維持をベースに漏水調査の方法、老朽管の布設替えを継続し、向上に努めます。下水道は30年度末で普及率84・4%、水洗化率82・8%です。普及は今年度妻木町の区画整理地内など、未整備路線、私道の整備を行う予定です。水洗化は30年度に410件の使用開始。見通しは普及率、水洗化率はしばらく増加傾向が続くと考えます。**

◎**経営戦略のなかで漏水調査は「民間委託では限界」とされているが、過去のように職員として雇えないか。**

◎**以前いた漏水調査員は長い期間の育成が必要で人事異動等の状況から**

技術の継承は難しいと考えます。

◎**水道料金の水準は県下でどうか。**

◎**上水は21市のなかで瑞浪市と並んで一番高い状況。下水は9番目。**

◎**水道料金が高い原因は。**

◎**県水の原価が高いこと。土岐市の地形上、高低差が非常に大きく、電気設備の維持管理経費がかかります。**

◎**市民から水道料金引き下げの声を沢山頂きました。見直しの考えは。**

◎**老朽管の布設替え、配水管の耐震化工事、これらの維持更新に多くの費用がかかるため現在の料金引き下げはちよつと困難なところです。当面今までの料金を維持し、事業を進める経営戦略を立てています。**

◎**土岐市は水道事業ビジョンの中では10年後まで継続して利益を創出できるとなっています。60億円近い企業債も2016年度には34億返している状況で、料金を下げられない、はあまり納得できない。下げる余裕があるのではないか。**

◎**料金を下げた状況で企業債を残すと将来に非常に重い負担を残す。現行料金を維持しながら強靱化を図る必要をご理解頂きたいと思います。（市長）経営の中身をチェックして、出来る限り料金を抑える最大限の努力をしていきます。**

◎**私も県の方へ県水引き下げの交渉をこれからも要求していきます。**

### 《第3回定例会一般質問》



水野 哲男

◆土岐市の自治会（町内会）について

加入者が減少し、先細りとなっていく自治会（町内会）が全国的な課題となっている。少子・高齢化による近隣同士の助け合いの関係が希薄になってきている現代こそ、一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる環境や、いつ起こるか分からない災害等に備えるための自治会組織が必要であり、自治会の役割は大きいと考えるが、市の対策や政策について聞きたい。

◎**土岐市の自治会加入率は。**

◎**算定の方法として、各町内で取りまとめたいただいた町内会加入世帯数を、市の住民基本台帳登録世帯数で割って出しているの、分母が町内会で考えてみえる世帯数よりも大きくなるということを知っていました。市全体で69%である。**

◎**自治会への依頼事項の種類や内容は。**

◎**市が直接お願いしているものとして、毎月2回配っていたらいいという広報、回覧板の配布がある。それで**

外に、ごみステーションの管理、道路、河川、公園などの清掃、高齢者の見守り活動、町内要望の取りまとめ、各種委員の推薦などをやっていたらいい。

◎**町行政にとって自治会はどこまで必要な組織と考えているのか。**

◎**自治会のあり方として、自分たちで解決する自助、地域課題を地域で解決する共助、地域や個人で解決できないことを行政が担う公助という補完性の原理の考え方があつた。**

◎**この考え方の中で共助の役割を担っているのが自治会であると考えている。防災や子育て、高齢化等地域課題が多様化する中で、住民に一番身近な地縁組織である自治会だからこそ共助ができ、必要不可欠であると考えている。**

◎**自治会の維持、強化策は。**

◎**市内の全ての、250の自治会に実態調査を行い、現在抱えている課題や問題点を把握、分析し、その後、仮称「共助のまちづくり検討会」を立ち上げ、市民が自治会に求めていることや、問題点を洗い出し、加入率の増加に繋げていくなどの検討を考えている。**

◎**自治会は、市の下部組織ではなく、地域を支える組織であり、今後ともより良い自治会運営に、ともに取り組んでいきたい。**



高井由美子

◆食品ロス削減について

問食品ロス削減への取り組みは。

答意識改革の啓発を行っていた。今後、食品ロス削減の推進について研究してまいりたい。

問食育推進基本計画の重点課題、食の循環や環境を意識して食育の推進について土岐市は。

答健康づくり計画「健康とき21」は令和2年が中間評価年で計画の見直しを行う。食品ロスについて、基本的考えを入れる。

◆プログラミング教育について

問プログラミング教育の実施について。

答今年を準備期間として、環境整備として、パソコン教室のパソコンをウィンドウズ10に入れかえ、各小学校に10台ずつタブレットを導入する。

今年度、泉小学校をプログラミング教育の研究指定校とし、先駆的に模擬授業の実践を行い、プログラミング教育の指導計画を策定する。

外部支援として、岐阜大学の先生

や、核融合の先生方のご協力で助言や直接指導を受ける。

8月31日に小学5・6年対象の「初めてのプログラミング ドローンを飛ばそう」を実施予定。

◆健康ポイント事業について

問健康ポイント事業の実施状況は。

答20歳以上の方で、がん検診や特定健診など13の検診と健康づくり講座、イベントを実施した。はつらつ元気塾や脳の健康教室など7教室の参加は230名参加。ミナモ健康カードと抽せん申込み券を交付した。

●健康寿命を延ばすために一人でも多くの市民の方々が楽しく参加して、介護予防や健康づくりを行っていただけるよう、健康ポイント事業の普及啓発を。



岐阜県健康ポイント事業啓発ポスター

次回 9月定例会(予定)

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
		本会議 初日 (議案提案説明)				
9/1	2	3	4	5	6	7
					本会議 2日目 (質疑・委員会付託 ・一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	
15	16	17	18	19	20	21
		総務産業建水 委員会	総務産業建水 委員会			
22	23	24	25	26	27	28
29	30				本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)	



## ギネス記録挑戦企画に 参加しました!!

～美濃焼のお皿で  
世界最大のモザイクアート～

美濃焼のお皿で世界最大のモザイクアートを作るとい  
う、一般社団法人土岐青年会議所主催のギネス記録挑戦  
企画に、土岐市議会として参加しました。7月28日の  
織部まつりの日には記録の認定審査が行われました。

9月には、この挑戦に至るまでの動画がYoutubeに  
て配信されます。このようなイベントを通して、土岐市  
議会も市民の皆様と一体となり、より一層土岐市を盛り  
上げていきたいと思えます。



議場にて、動画のワンシーンの撮影が行われました。

## 編集後記

皆様、暑い毎日ですがいかがお過ごしでしょうか。さて、今年も8月15日の終戦記念日に向けて戦没者の追悼式が全国で行われようとしています。1945年、戦死者約212万人、空襲による死者約24万人もの尊い命が奪われ、第二次世界大戦が終結しました。戦争は愚かな行為だとだれもが悟ったことでしょう。戦後、日本は不戦を誓いました。74年間平和が続いたことを誇りに思います。これからも平和国家として世界にお手本を示してほしいと心から願っています。若い世代へ平和のバトンをしっかりとつなぎたいと思います。まだ残暑が続きますが、お体くれぐれもお気をつけください。土岐市議会は市民の皆さんが安心して暮らせるよう切磋琢磨し勉強してまいります。皆様からどうぞご意見をお寄せください。お待ちしております。  
(文責：和田悦子)

### 議会だより編集委員会

編集委員長：小関篤司 副編集委員長：和田悦子  
委員：西尾隆久 楓博元 後藤久男 水石玲子 安藤学 後藤正樹